



特集

# 少しずつでも、前に



新型コロナウイルス感染症による影響は経済、生活など多方面に及びました。そして今もその脅威がなくなることはなく、このウイルスと向き合いながら日々を過ごしていく状況が続いています。

今回の特集では、このコロナ禍において、今までのことをどのように感じ、そしてどのように前に進んでいくのか…商工、観光、農業、文化、スポーツといった、さまざまな方面の関係者からの思いを紹介します。

## 特集もくじ (インタビュー記事一覧) .....

- ① 田原本町商工会青年部 部長 和田拓也さん ..... 05
- ② 田原本町観光協会 会長 服部誠さん ..... 06
- ③ 奈良県農業協同組合 川東営農経済センター 所長 土谷直章さん ..... 07
- ④ 田原本町文化団体連絡協議会 会長 藤本義則さん ..... 08
- ⑤ 一般社団法人 NRSF 奈良県ローラースポーツ連盟 代表理事 実本琢也さん ..... 09

## 田原本町商工会青年部の皆さんが清掃活動を実施！

全国の商工会青年部で、地域に貢献するための活動が各地で行われています。

田原本町では7月10日に、駅周辺で清掃活動を実施。部員の皆さんは、マスクなど対策を整え、熱心に取り組んでいました。



少しでも、このまちのためにできることを、これからもやっていきます！



## 今できること、今までできなかったことをやっていく

状況が続いていると認識しています。現在は、サービス業が持ち直してきた感がありますが、また感染事例が出始めているので、油断できない状況が続いていると認識しています。

新型コロナウイルス感染症によって、特に影響の大きかった4〜5月は、特にサービス業といった、直接消費者と触れ合うような業種は厳しい状況にあったと聞いています。他にも、建設業では、海外から材料が入らなくなり、工事が思うように進まない状況にいたり、製造業も6月あたりから状況が厳しく、設備業界や自動車業界などでは、大企業の動きが鈍くなったことで、一気に落ち込んだとも聞いています。

### 商工会から見る、まちの現状



田原本町商工会青年部 部長 和田拓也さん

### 少しでも力になれるように

商工会青年部の動きとしては、国や県、町からの補助金や助成金、融資の情報などを、いち早く部内の事業所と共有していくということを第一に動いています。他にも、マスク、次亜塩素酸水などの在庫状況や、テイクアウトを行っているところをまとめるなど、さまざまな情報を共有するなどして、少しでも各事業所が動きやすくなるようサポートを行っています。

### 今までできなかったことを

今年度は、今までできなかったことを考え、しっかりと準備していく期間であると考えられています。

どんこバレーについては、規模の拡大など、今後の発展のための検討期間ができたことと認識しています。他にも、苦しい状況の中での、補助金などの活用方法といったセミナーを開催してはどうかという話があったり、より深い情報共有のため、グーグルの「Suite」というグループウェアツールについて学んでいくことなど、全国の青年部の動きも参考にしながら、さまざまな面から取り組みを考え、実行していきたいです。

現在の暗い状況を少しでも良くしたいけるよう、皆で頑張っていきたいと思っています。





## 奈良県農業協同組合 川東営農経済センター

営農経済センターでは、肥料や農薬の販売などの業務を行い、生産者をサポートしています。



農業は田原本町の主要な地域産業の一つであり、生産者の皆さんが日々、魅力的な農産物を作るため頑張っておられます。



## 農業のこれからのために、生産者とともに頑張っていきたい

### 農業における影響は

農業における新型コロナウイルス感染症の影響というのは、生産者によって大きく違ったという印象です。どのようなものを栽培しているか、どこをターゲットにしているかというところが大きく、例えば花卉は、卒業式や入学式など、3〜4月のイベント目白押し時期に多数の中止や規模の縮小があった影響で需要の落ち込みが大きかったと聞いています。他にも外出自粛により、外食産業に卸しているところや、外国人観光客向けの高級食材なども影響があったと考えられます。

また7月に入ってからには、凄まじい豪雨もあり、九州、中部地方あたりはかなりの被害が出ています。農業はさまざまな環境に左右されるので、立て続けにさまざまなことが起こっている今年は、全国的に厳しい状況が続いていくと思っています。

### 生産者のサポートを第一に

農協としては、生産者の経営の継続のため、経営継続補助金といった国からの補助金などの申請に対する奔走支援などをさせていただいています。また営農経済センターとしても、コロナ対策を行い肥料や農薬の販売など業務を継続しており、生産者のサポートを第一に動いています。

### 農業のこれからのためには

今の状況が突然劇的に良くなることはないでしょう。だからこそ、少しでも良くしていくために動いていかなければなりません。

そのためには、奈良県全体として、新規の人が農業をしたくなるような環境づくりをもっと進めていく必要があると思います。そして農協としても、生産者との情報交換などをより積極的に行い、お互いの連携を深めていきながら、今後の農業の発展のために頑張っていきたいと思っています。



奈良県農業協同組合  
川東営農経済センター  
所長 土谷直章さん

## たわらもと吹奏楽団の練習の様子

6月に入り、文化団体の各団体が活動を再開し始める中、たわらもと吹奏楽団も練習を再開しています。チームを分けたりするなど、できる限りの対策をとって行っています。



**123** 練習ではできる限りの距離をとり、また楽器については、ヤマハが行っている管楽器などの飛沫可視化実験のデータなどを参考に、注意して取り扱っています。**4** 指揮者は対策として、フェイスガードを装着。**56** 昨年度の文化祭の様子。このにぎわいが戻ってくることを願っています。



## 文化祭

文化団体の一大イベントである文化祭。各団体の思い、成果を見ていただく場として、毎年開催しています。

今年度はコロナ禍を考慮しつつ、開催に向けてさまざまな方法を検討しています。



## 立ち止まらず、次のことを考えていこう

「中止しました」それで終わりでは、聞きに来て下さる人にも、今後の活動にも悪影響を及ぼしてしまいます。くじけず次のことを考えて行動していくことが、前例のないことが起こっても活動を続けられるエネルギーになると思っています。

文化団体全体として2月から、新型コロナウイルス感染症の影響によって、活動を停滞せざるを得ない状況となりました。私が団長を務めるたわらもと吹奏楽団も、緊急事態宣言を受けて練習は中止となり、6月に開催を控えていた演奏会についても延期という決断を下しました。活動自粛中は、いつの日か再開した時の練習方法や、活動の方向性をオンラインで綿密に打ち合わせました。演奏会についても単に延期するのではなく、12月開催予定であるという案内状を前回来場いただいた方々に送っています。

### 次につながっていく動きを



田原本町文化団体連絡協議会  
会長 藤本義則さん

### やり方を考えながら、一歩ずつ

練習を再開してからは、基礎的な練習を中心に行っています。多くの催しが中止になり、演奏を披露する場が少なくなったのは残念ですが、自分たちの技術を見つめ直すいい機会であるとも感じています。

他の文化団体についても、6月の再開時点で半数くらいは活動を始めておられます。それぞれやり方を考えながら、一歩ずつ進んでいる、という印象です。

### 皆で考え、より良い答えを

現在は文化祭の開催に向けて、さまざまな方法を検討しています。成果発表の場がなくなることは寂しいし、各団体にとっても今後の活動に影響が出るおそれがあります。中止にするのは簡単ですが、簡単にできる選択ではありません。

再び感染事例が報告されている状況も踏まえ、皆で考えあってより良い答えを出していきたいと考えています。



### 田原本スケートボードパークの様子

人数制限など制約がある中ですが、皆さんのびのびとスケートボードを楽しんでいます。

16ページに、再開したスケートボードスクールの案内がありますので、ぜひご覧ください！



## スケートボードは安全、安心なスポーツであることをより伝えていきたい

### 再開して思うこと

田原本町スケートボードパークについて、再開してまず感じたのは、新規の人をはじめ、利用者が増えてきていることです。その理由として一つは、基本的に野外のスポーツであるということ、感染防止の観点からも大きい利点だと思います。そしてもう一つ、手軽に楽しめるスケートボードというスポーツを、田原本町で安全にできる環境があるというのが、改めて認知されてきているということも、利用者の拡大につながっていると考えています。

### 対策、そして今後に向けて

現状での再開において、当パークでは、20名程度までの人数制限や、非滑走エリアなどで密にならないようスタッフからの呼びかけなどを行っています。

また、今後に向けて、自宅でも練習ができるよう、初心者の方も参考



一般社団法人 NRSF  
奈良県ローラースポーツ連盟  
代表理事 **実本琢也**さん

になるような動画の作成も考えています。今、YouTubeなどの動画配信サービスは、オンデマンド的な体系的に何かを学習できる面が目まわっていますので、新しい練習のあり方の一つとして、注力していきたいところですね。

### 安全、安心なスポーツであることを伝えていきたい

今後は、よりデジタル化に重きを置いて活動を強化していく方向です。前述した動画の配信などもその一つですし、大会や発表会のオンライン開催なども実現できればと考えています。感染リスクを抑え安全性を考慮し、かつ楽しめるものを提供し、PRしていくことで、安全で安心に楽しめるスポーツであることを伝えていきたいと思っています。

そしてそれが、スケートボードのスポーツとしての価値を上昇させることにつながっていくと考えています。